

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>弊社が受託している販売業務において FTTH の販売も取り扱っておりますが、事業者間の料金や契約時の特典競争が激化しており、お客様の料金負担は確実に軽減傾向にあります。</p> <p>しかしながら、FTTH は契約したもののサービス等が少なく利用する価値が低い、といったお客様の声を頂くことも多く、FTTH の価値を普段の生活の中でお客様にどう体感していただくかが大きな課題であると感じております。そのためにも電子政府、教育、医療を中心とした生活に密着したコンテンツやアプリケーションの充実こそが、お客様が最も求められているところであると考えます。</p> <p>さらに FTTH の販売のベースとなる PC の需要がスマートフォンや iPad のような多機能携帯端末の需要に押されつつあり、固定系よりもワイヤレスブロードバンドによるサービス利用の需要が高まりつつあります。今後はブロードバンドに対する利用者のニーズを考慮し、FTTH のみならず、ワイヤレス等の技術・サービスの一層の発展により、多様なアクセス手段によるブロードバンドの実現が必要かと考えます。</p>